

# 心・安全見守り隊

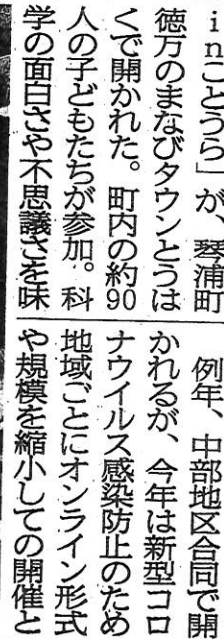
新聞と一緒に地域へ安心・安全をお届けします  
日本海新聞販売店全104店

## 不思議や面白さ味わう

### 中部こども科学まつり 高校生がサポート役

琴 浦

「中部こども科学まつりinnこうり」が、琴浦町徳万のまなびタウンとうほくで開かれた。町内の約90人の子どもたちが参加。科学の面白さや不思議さを味



もの作りに挑戦する子どもたち

わった。例年、中部地区合同で開催されるが、今年は新型コロナウイルス感染症防止のため地域ごとにオンライン形式や規模を縮小しての開催とな

った。同町では、町教育委員会が中心となり規模を縮小し、対面形式で実施した。

会場には、「光の万華鏡」「ビー玉で宝石を作ろう」「古代コマ」「アルミ缶車を作ろう」など6ブースが開設され、子どもたちが町出身の高校生ボランティアのサポートを受けながらもの作りに挑戦した。

参加した保護者は「高校生がとても丁寧に教えてくれて、子どもが喜んでいたら話していた。

この他、鳥取短期大の野津伸治教授が講師のオンライン工作教室が1日行われ、倉吉東高の吉井昌博教諭が講師のオンライン実験教室も21日に予定されている。

(浦安通信部・中西哉子 部長)



イチジク狩りを楽しむ子どもたち

## 山あいの集落に活気

### 鹿野「果樹の里山まつり」カフェなど大盛況

広大な耕作放棄地で種々の果樹を育てる鳥取市鹿野町河内の果樹の里山協議会は、旧河内生活改善センターを主会場に2日間にわたって「果樹の里山まつり」を初めて開いた。町内外から約600人の来場者があり、山あいの集落は活気に包まれた。

同協議会は約4・5畝の

品種760本の果樹を栽培。集落を観光農園、体験農園にしようと、取り組んでいる。

まつりは、活動に協力する大阪国際大の学生たちが企画。イチジクや栗などが飛ぶ売れゆきで、イチジクを使ったカフェではパフェやスムージーが人気を呼んだ。地域を歩きながら自然に親しむフットパスや果物狩りも大盛況で、大きなイチジクをうれしそうに持ち帰る姿が見られた。

妻と訪れた同市北園の熊田洋さんは「イチジク狩りを楽しんだ。大ぶりな果実で、とてもおいしかった」と喜んだ。

(鹿野通信部・池本智美 部長)

砂浜を駆ける児童たち



6年生男子で1位になった